

五月晴れのなか、五・七・五で描かれた情景を堪能 第23回黒羽芭蕉の里全国俳句大会

6月24日(日)、黒羽市内のホテルで「黒羽芭蕉の里全国俳句大会」が開催されました。

この大会は、松尾芭蕉の「おくのほそ道」紀行300年にあたる平成元年度に旧黒羽町で開催したことに始まり、今年度で23回目の開催となりました。

事前に募集していた自由題の部には、全国各地の621名から2095句の応募があり、大会当日の席題の部にも171名が参加して投句。「鮎」「梅干」「紫陽花」という席題のもと、参加した皆さんは、俳句づくりの腕前を競いながらも、俳句で表現されたさまざまな情景をたつぷり堪能していました。

選者には、本市ゆかりの黒田杏子先生をはじめ、各方面でご活躍中の5名の先生方をお招きして選句をしていただきました。

また今大会では、早稲田大学名誉教授である堀切実先生に、「おくのほそ道、心の旅―黒羽の芭蕉―」と題したご講話をいただきました。

今回受賞した作品と作者は次のとおりです。(推薦と特選のみ掲載、敬称略)

自由題の部

黒田 杏子 選

○推薦(栃木県知事賞)

雲巖寺真如の月を上げにけり

栃木・宇都宮 細井 寿子

○特選

風少し藁の香運ぶ良夜かな

茨城・筑西 早瀬重三郎

那須岳の風の道筋寒北斗

大田原 蓮實 淳夫

冬遍路室戸の雨は横なぐり

栃木・宇都宮 半田スミ子

高野ムツオ 選

○推薦(朝日新聞社賞)

学問に色あらば青入学す

東京・文京 伊藤 季実

○特選

那須育ち与一もわれも凧も

栃木・那須塩原 花塚 空如

天の闇地の闇繋ぎ飾焚く

大田原 蓮實 淳夫

水漬く兄今も飛魚放ちけり

栃木・那須烏山 佐藤 利夫

西村 和子 選

○推薦(下野新聞社賞)

掃き寄せし落蟬こゑをだしにけり

大分・大分 猪原アヤ子

○特選

雲の峰鋏を洗ってまた仰ぐ

栃木・日光 細井 麦魚

雪嶺の煌めく千振開拓碑

栃木・那須塩原 羽山 洋子

帰省子が風の旨さを言いにけり

茨城・日立 鈴木 明子

高柳 克弘 選

○推薦(大田原市長賞)

鏡餅割れて氷河の夢をみる

栃木・鹿沼 笠岡 豪

○特選

那須育ち与一もわれも凧も

栃木・那須塩原 花塚 空如

林立の詩の寂しさや暖炉燃ゆ

京都・京都 新宮 里栲

瀬祭ることくに葉並べけり

千葉・千葉 大久保文夫

木島 松穹 選

○推薦(栃木県俳句作家協会会長賞)

仏法僧硯師ひとりの闇となる

栃木・鹿沼 小笠原ゆずる

○特選

死に様は生き様なりき枯蓮

埼玉・さいたま 加藤 啓子

独り居と孤独のちがいつくづくし

千葉・君津 北野 耕太

置けば口ひらく塵取龍の髭

神奈川・横浜 川原 京子

黒田 杏子 選

○推薦(栃木県知事賞)

源流は火の山にあり鮎上る

大田原 木田 實祢

○特選

鮎釣つてたつぷり生きる翁かな

栃木・那須塩原 石塚 瑛子

高野ムツオ 選

○推薦(朝日新聞社賞)

鮎を食ふ骨まで食らひ句碑祝

宮城・仙台 西澤 勝

○特選

源流は火の山にあり鮎上る

大田原 木田 實祢

西村 和子 選

○推薦(下野新聞社賞)

梅干してまだまだ欲しき時間かな

大田原 井上 薫子

○特選

句碑立ちて鮎一斉にのぼりくる

大田原 後藤 道子

高柳 克弘 選

○推薦(大田原市長賞)

紫陽花や那須野の水のきよらなる

栃木・小山 菅沼喜久子

○特選

朝まだき友呼ぶ声や鮎の里

栃木・鹿沼 渡辺 加代

木島 松穹 選

○推薦(栃木県俳句作家協会会長賞)

源流は火の山にあり鮎上る

大田原 木田 實祢

○特選

水茎のさやなる句碑よ鮎の川

岩手・盛岡 柴田 綾子

問い合わせ

黒羽芭蕉の里全国俳句大会事務局
(文化振興課文化振興係)

TEL (23) 8718

